

令和7年度 日本ゲノム編集学会 国際発表奨励賞 募集要項

日本ゲノム編集学会は国際発表奨励賞（JSGE Talk Abroad Encouragement Award）を設け、ゲノム編集分野で研究を行なっている本学会学生会員が、国際会議への現地参加・研究発表を通して幅広い経験を得る支援を行っています。CV（英語版履歴書）の Awards に記載して業績の一つとして自己アピールにも使用してください。

1. 対象者 本学会学生会員で、以下の国際会議でポスターあるいは口頭発表をする者。
2. 対象国際会議

会議名	日時	要旨締切
CSHL meeting Genome Engineering: CRISPR Frontiers 2025 (開催地：米国ニューヨーク州)	2025年8月12-16日	5月23日
Frontiers in Genome Engineering 2025 (開催地：中国海南島)	2025年11月4-6日	未定
Keystone Symposia Precision Genome Engineering 2026 (開催地：カナダ)	2026年3月9-12日	2026年 2月17日

3. 奨励賞内容

次の2タイプから各自一つ選んでください（10.備考に注意して下さい）。

- ① 渡航・参加費の全額を自己負担で考えている場合
支援金として、30万円。
- ② 渡航・参加費は研究室から支給を予定している場合
奨励金として、5万円。

4. 人数 各会議若干名

5. 応募方法 令和7年度用申請書類を学会 web サイトより入手し必要事項を記入、以下の締切日必着で学会事務局（8に記載）へ提出して下さい。

CSHL meeting	2025年5月16日
Frontiers in Genome Engineering	後日ホームページ掲載
Keystone Symposia	2026年2月2日

6. 受賞者の発表 日本ゲノム編集学会国際委員会において、渡航動機および発表要旨の内容を精査し受賞者を決定した後、下記の日時にメールにて連絡します。受賞決定者に関しては指導教員にも結果を通知します。なお、各会議の要旨提出締切前に連絡し、採否の結果を見て会議参加を最終判断できるよう配慮します。

CSHL meeting	2025年5月21日
Frontiers in Genome Engineering	後日ホームページ掲載
Keystone Symposia	2026年2月9日

7. 発表後の手続き 会議終了後、令和7年度用報告書兼振込口座登録書を学会 web サイトより入手し必要事項を記入後、学会事務局（8 に記載）へ提出して下さい。報告書は学会のメルマガで学会員に配信しますので、有意義な体験等も含めて簡潔に記載して下さい。また、ホームページにも掲載します。
8. 申請書及び報告書の提出方法 学会事務局 jsge@nacoss.com に記入済みファイルを送付。
9. 支払い 報告書を精査後、指定の口座に支援金を振り込みします。
10. 備考 ① 支援金は、渡航費や学会参加費等、海外での研究発表に関わる経費全般への支援です。支援金の支払いは帰国後となることに注意して旅行を計画して下さい。学会参加に加え、海外ラボの訪問等組み合わせても構いません。より有意義な海外渡航となるよう工夫して下さい。なお、本支援金を受けつつ、研究室から渡航費の支給を受けることは二重請求となり研究不正となります。具体的には科学研究費補助金等の受給者が処罰の対象となりますのでご注意ください。
② 奨励金は、使途自由として支給しますので公費から支給される渡航費参加費から差し引く必要はありません。

■問い合わせ先

一般社団法人日本ゲノム編集学会 事務局

E-mail: jsge@nacoss.com